

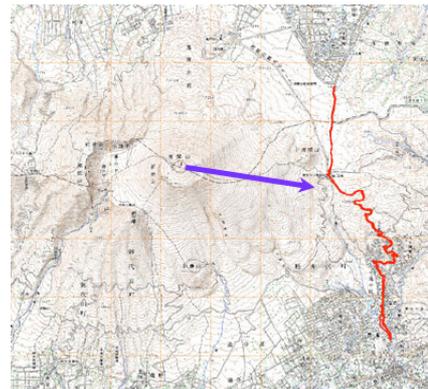
2004年10月28日 DOASによる浅間山SO₂観測

浅間山にて、10月28日にDOASによるSO₂放出量観測をトラバース法により行った。
SO₂放出量値は、4回測定の平均値で、**3100 ton/day** (最大3300ton/day、最小2900ton/day)であった。
308.6nmの波長における測定結果を採用した。

観測者：大和田道子、風早康平(産総研GSJ)

天候：晴れ

SO₂観測時間：13:00-14:30



観測時の状況

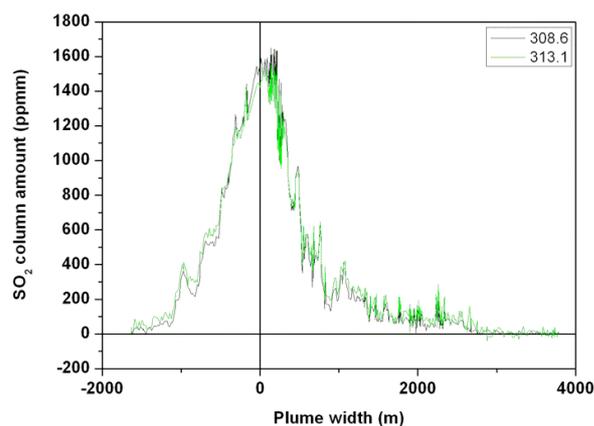
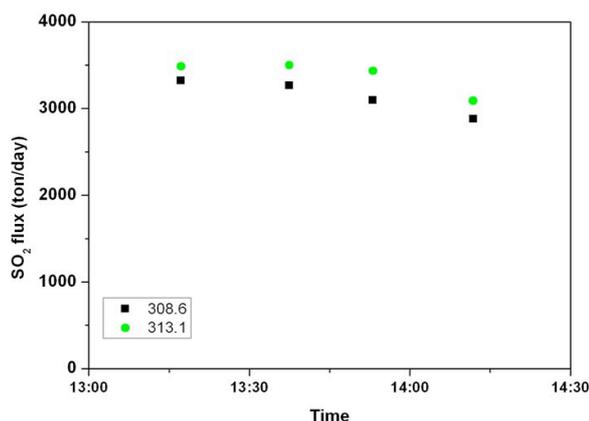
今回の観測は、当日の午前4時24分に噴火があったのちの観測となった。観測中、時折有色噴煙がみられた。噴煙にはおそらく火山灰が含まれていたと思われる。

トラバース経路

上図にトラバース経路(赤線)を示す。浅間山の東側を通る道路の噴煙下を往復。合計4回のトラバースを行った。

風速は、火口の東北東約5km地点から撮影したビデオカメラ映像を用いて算出した。

SO₂放出量(ton/day)の観測結果



308.6nm、313.1nmの各波長を用い計測したSO₂放出量の時間変化。310.7nmの結果は、ノイズが大きかったため用いなかった。
放出量値としては、308.6nmの結果を採用した。

上の図はトラバース観測による各波長におけるSO₂カラム量変化の例(トラバース1)

SO2放出量値(ton/day)

Asama SO2 Flux					
Date	2004/10/28				
Run	Time		wind	308.6nm	4: 313.1nm
	start	end	m/s	ton/day	ton/day
1	13:17:14	13:28:30	7.88	3321	3484
2	13:37:28	13:48:25	7.88	3262	3498
3	13:53:07	14:05:40	7.88	3096	3434
4	14:11:50	14:24:00	7.88	2880	3089
Average				3140	3376
Minimum				2880	3089
Maximum				3321	3498